



# 砂川ロータリークラブ会報

## ■ 本日は12月3日(水) 第2624回 例会 ■

定時総会

会長担当

四大祝福

クラブフォーラム I

※RCレート 12月1日より 1 \$ 156 円

## ■ 次週の予定 ■

12月10日(水) クラブフォーラム II

副会長担当

第2625回

12月17日(水) 夫婦忘年会(夜間例会)

親睦活動担当

第2626回

クラブフォーラム I

12月24日(水) 指定休会

## 第2623回例会記録 2025年(令和7年)11月26日(水) 曇 「4つのテスト」唱和 「奉仕の理想」齊唱

- ・ゲスト紹介 本日はいらっしゃいません。
- ・ビジター紹介 美唄ロータリークラブ 富田博美様

### 会長報告

会長 松原 重俊

本日はございません。

### 幹事報告

幹事 西川 公平

- ①留萌ロータリークラブより12月の例会案内が届いております。
- ②滝川ロータリークラブより12月の例会案内が届いております。
- ③本日18:30より焼肉銀座園においてクラブ協議会が開催されます。理事役員委員長の皆様ご出席お願いいたします。

### 委員会報告

- 国際奉仕委員会 委員長 佐藤 洋一  
国際奉仕委員会よりご報告させて頂きます。

先週卓話頂いた、赤平ロータリークラブ50周年記念事業の「教えてドラえもん! メコン川から始まる「地球を守る読み聞かせ付図書プロジェクト」に賛同し協力させて頂く事を、松原会長と委員会で決定し、5万円の支援をした事をご報告させて頂きます。

- ロータリー財団・米山記念奨学会 委員長 信太 英樹  
本日、ロータリー財団へ 佐藤正一郎会員から150ドル、石冢裕二会員から150ドルのご寄付をいただきました。  
米山記念奨学会へ 佐藤正一郎会員から14,000円のご寄付をいただきました。 有難うございます。

## 例会

### 会員卓話

副幹事担当  
水島 聖一

#### 「プラススタイルについて」

副幹事 水島 聖一

私が活動させていただきます「砂川プラススタイル」という団体についてご紹介させていただきたいなと思っています。ちなみにこの中で「砂川プラススタイル」の演奏を見たことないよっていう方いらっしゃいますか皆さん見たことがありますね。ありがとうございます。さすがロータリークラブの皆さんは我々の活動にも造詣が深い方、たくさんいらっしゃるかとは思います。

改めて少し深いところに知っています。ただければと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。砂川プラススタイル実行委員会というのが正式名称で、実行委員会形式の任意団体で、砂川市のボランティア活動の



団体等にも登録させていただいております。設立は2012年の2月1日。私は砂川中学校の吹奏楽部出身で、そのOB会の中で集まって演奏するんじゃなくて、プロの演奏会みたいなのできたらいいよね、自分たちがそのバンドを砂川に誘致して、そして何かライブとか開催できたらいいよね。今の若い人もいっぱいいろんなイベントとかやりたいなという方いらっしゃると思うけども、本当にそういうような単純なノリで始めた活動でした。その中で、私の二つ上の先輩に、今議長されている多比良さんがいるんですけども、聖ちゃん、ちょっと今度こういうのをやろうと思うんだけど、どうだろうかというふうに話を持ってきてくれたのが、「東京プラススタイル」というバンドがありまして、こちらのバンドをぜひ砂川に来てもらいたいというふうな話が出てきました。

その「東京プラススタイル」というバンドは、演奏もするんですけども、子どもたちを一気に集めて、その子どもたちに演奏を教えるクリニックとか、あとその子たちだけのためのミニライブとか、そういうものを開催してくれるということなので、町のためにもなんか役に立ちそうだし、市民の皆さんにも喜んでもらえそうだし、ちょっとこういうのをやってみようかということから始めました。子どもたちにも出でもらうので、その時、砂川小学校、砂川中学校、石山中学校、砂川高校、四つの吹奏楽部がある学校があるので、こちらの方に行って、今度こういうイベントやろうと思ってるんですけども、出でもらえませんかっていう話をしていく中で出てきたのが、大変そういうものもありがたいんですけど、実は今、学校の楽器がもうボロボロで、吹けないものもたくさんあると。それでもなんとかしてもらえたらしいんだよねっていう話が出てきて、それならば少しでもお役に立てるように、なんかこう、お金を作ることを始めようかというふうに多比良さんと話がなりました。

私が中学一年生で、多比良さんが中学3年生のときに、砂川中学校の吹奏楽部が初めて、吹奏楽コンクールで全道大会に出場するという機会があったんですけども、まさにその時とプラススタイルを創立するときの中学校や各学校の楽器状況が同じ感じで、砂川中学校も全道コンクールに出れるのはありがたいけど、とんでもない楽器が足りないし、ボロボロだし、これ何とかしたいなということで、当時の顧問の先生が保護者で伝えたところ、私の親や多比良さんのお母さんなどでこう集まって、市内の企業をまわってお金を集めてくれました。今じゃ考えられないんですけど、200万ぐらい集まつたらいいんですね。そんなに集まるんだと。そういうふうにしてもらって、私たちは綺麗な楽器を持って全道大会に出場させてもらうことができた。

どこか心の隅に残ってて、実はそこから20年、30年した時に同じ話が出てきたというのは、何かこれも巡り合わせじゃないかということで、演奏会もやるけど、子どもたちに楽器になるような活動をしようということで始めた、このプラススタイルの活動でございます。一番最初はちょっと想像つかないかもしれないけど、空き缶あつめてました。

多比良さんの会社の敷地のところにでっかい鉄籠を置いて、そこにこう集めてきた空き缶を集めたんです。そういうとこからちょっとずつはお金を作り出したんですけども、ちょっと設立からですね、2、3ヶ月ぐらいして、当時ローレルさんがあの音楽イベントやるから、あんたたち楽器できるでしょ出なさいよと言ってもらって、それならちょっと楽器できる人たちもうちちょっと集めて、なんかバンド作ってやろうかっていうような形で、この2012年の4月にですね、このゆうの大ホールで、ローレルのイベントで演奏会の中に参加させてもらうということがありました。

せっかく作ったバンドだし、これからもあの、なんか呼ばれたらやれたらいいねっていう話しながら、その年の、ラブリバー砂川とか、あちこち顔出させてもらったらやらせてくれるって言うからじゃあお願ひしますって言って。そこであの寄付を募ったり、出演料をいただいたりとかしてるうちに。一年ぐらい経って気づいたんですね。これ空き缶集めるよりこっちの方が割がいいんじゃないかということで、プラススタイルが各地で演奏するようになったというもののきっかけでございます。

会員数は今18名ということで、男性10名、女性8名なんですけど、非常に変動します。社会人バンドなので、転勤とか、子育てとか、中に出産とか、そういう事情があって、楽器できる人を探してきて、集めてして、演奏するようなことができるようになっています。年会費はですね、3000円で。我々任意団体ですから、毎年4月の末ですね、総会を開いてということで、一応しっかりとした形で活動をさせてもらっています。北門さん基金の補助金とかも何度もこう申し込みさせてもらって、採択いただいて、そのお金で楽器を買ったり、もしくは自分たちの機材をですね、調達したりというような形で、いろんな方に支えられながら活動しているというふうになっております。年会費が3000の次の活動なんですが、砂川市内を中心で演奏、地域活動ということで、皆さんのが存知の砂川のさっき言ったイベントや、あとTHEまつりさんとかですね、あとロータリークラブさんでも以前、リビスタの、2階でアンサンブル演奏なんかさせてもらったりとかしてですね、市内各団体さんにですね非常に知つていただいて活用していただいているという感じでございます。我々いただいた収益はすべて子どもたちの楽器にさせていただいております。今だいたい合計で400万円ぐらいの楽器を寄贈させていただいております。週1回ですね、毎週金曜日、夜9時ぐらいからやります。もし楽器やったことある経験あるんで、久しぶりにやってみたいという方いらっしゃったら、参加していただけたらと思っております。私たちの活動スローガン持つて、その下にあるんですけども、「子どもたちに笑顔と楽器を届けたい」ということで、子どもたちの育成、そしてあの楽器の贈呈というのを、あの主題において活動しております。三本柱で活動して、子ども若者音楽教育支援、市内の小中学校への楽器寄贈、そして音楽による地域の活性化。

一つ目、子ども若者の音楽教育支援というのは、子どもたちにプロのアーティストに触れさせたいと。本物の音楽に触れることによって、もっと音楽を好きになったり、この道に深く入っていきたいということを身近に感じてもらえるような活動をしていきたいということ。先ほど話に出た「東京プラススタイル」に、来てもらって、演奏会を開くというような形なんですけど、その時に市内の子どもたちを集めて、そこで一緒にプロと一緒に演奏するようなことをやっております。そして市内の小中学校の楽器寄贈、これは先ほど言ったように、その年その年に、20万円分ぐらい楽器をどうぞとかいうことですね。楽器の金額を調整しながら贈呈してきております。13年ぐらいやると、さすがにもう一回り目の楽器がだいたい結構傷んできているので、これできる限りずっと続けていきたいなと思っています。そして、三番目が音楽による地域の活性化ということでですね、あの各地イベントに呼んでいただいてます。はい、そしてその下にですね、主な活動ということなんんですけど、地域のイベント、ラブリバー砂川に出演したり、砂川市民文化祭にも10月参加させていただきました。そして今年はですね、染谷会長にお声

がけをいただきまして、ソメスサドルさんの馬の日のイベントで演奏させていただいたという経緯があります。

そして、このゆうで、子ども育成事業ということで、キッズジャズスクールというのがあるんですけども、そこでもでも、あの講師活動。演奏指導ということで来させてもらっています。だいたい、札幌の菅原先生という札幌ジャズアンビシャスというバンドのプロの演奏家の方がいらっしゃるんですけども、その方といっしょに、子どもたちの指導をしたりとかしている状況でございます。

いよいよ年末ですね、毎年定期演奏会というのを開かせてもらって、皆様のお手元に茶色いチラシが入っているかなと思うんですけど、少し、癒しの時間がなんか作れたらいいなという気持ちで定期演奏会をやっております。全員集合ということで、ぜひ皆さんにも集まっていただきたいなと思っています。チケットは一般1000円で当日1500円になりますので、ぜひお早めのお買い求めをおすすめいたします。

ちなみに、ここにいらっしゃる皆さん、ご安心ください。私が売りに行きますので。この活動の中で、2023年に10周年ライブを開催したということで、ゆうでイベントをさせてもらったんですけど、この資料に出ているのは、その時のイベントの映像でございます。ぜひ、その時の様子と曲1曲くらい入れてもらえばと思います。バスクラリネットやフルートなどといった楽器を寄贈させてもらっています。映像はその時の1曲目の曲です。いつも何度もぜひお聞きください。

はい、ありがとうございました。自分が演奏していると気持ちになつたんですけど、こういうような形でライブを開催させていただいております。こんな感じで12月28日もやりますので、ぜひお誘い合わせの上ですね、たくさんの皆さんに来ていただければと思っています。このプラススタイルの活動を見たり、合同演奏とかで来てくれた子どもたちが、このプラススタイルに入りたいというメンバーもポツポツ出てきましてですね、10年もやっていると、こんなにたくさん反響があるもんだなというふうに思うと同時にですね、我々で活動するとプロの人とかもいろんな繋がりがありますので、ぜひこういうところから今度は我々と活動と一緒にするのも大事なんですけど、そこからさらにプロの演奏家が出てくれたらありがたいなというような気持ちでです。これからもこういうような活動を皆様に支えていただきたいなという思いを伝えさせていただきまして、私からの卓話とさせていただきます。本日はどうも有難うございました。

## 出席報告

委員長 福地真紀子

第2623回例会

※在籍数 41名 ※出席規定免除 2名

※本日出席基準 40名 ※本日欠席者数 6名

※本日出席率 87.50%

※本日欠席者 佐藤文優会員、阿部憲道会員

磯村賢一会員、成田英彦会員、高坂 誠会員

## ニコニコボックス

※卓話させて頂いてありがとうございます。チケット100枚ノルマです。みなさん買って下さい。 ○水島聖一会員

本日のニコニコBOX 5,000円 累計額 692,000円

☆は超高額、○は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 14,000円/人

本日 14,000円 累計 351,000円

ガバナー月信  
QRコード



※ロータリー財団：目標 230\$/人

本日 300\$ 累計 3,080\$

本号担当：香山素子 次号担当：阿部憲道

事務局：NPO法人ゆう内 (TEL0125-54-3111)

会長 松原重俊 幹事 西川公平

欠席届は前日迄に永森直弘SAAまで (TEL52-2309・FAX74-6002)